

「癸卯」

脚下照顧から

飛躍発展の年に

全国建築石材工業会・会長

矢橋 達郎



矢橋 達郎 氏

明けましておめでと
うございます。旧年中は
当会の活動にご理解ご協
力を賜り、誠にありが
うございました。

ウイズ・コロナ復興元
年になるかと期待した
2022年でしたが、夏に
これまでと桁違いの感
染者数となる感染第七波が

私共の建築石材業界も、
東京オリンピック以降の
落ち込みが回復できない
まま新型コロナウイルスの影
響を受け、全国的に仕事
量の減少が続いています。

また、新型コロナウイルス禍も
ワクチン接種の普及や治
療薬の開発承認が進み、
かつての平常に近い経済
活動や人的交流が再開し
て活発になることを切に

願うものです。
昨年は一昨年に続き、
コロナ禍により総会・理
事会も書面で行なう等、
制限のある不自由な状況
ではありましたが、会員
の経営課題解決の一助に
なるよう地道に活動して
参りました。

若い世代の知識向上・
スキルアップの一助とし
て、一昨年に続き昨春秋
に建築石材アドバイザー
認証試験を実施いたしま
した。80余名の受験者が
あり、一般・上級合わせ
49名の新しい建築石材ア
ドバイザーが誕生しまし
た。お客様から信頼され
る有資格者として、これ
からの活躍が期待されま
す。今回は提携先の日本
石材産業協会と連携して

PRを図り、石産協会員
の受験者数が増加しまし
た。
現場施工職の高齢化と
人手不足問題は、建設業
界共通の深刻な課題です。
施工職の技能向上・育成
のため、中央職業能力開
発協会が開催する石張り
技能士試験への協力を、
昨年も実施しました。
また、現場の働き手の
受け皿のひとつとして、
外国人技能実習生が特定
技能外国人となり、長期
にわたり日本国内の現場
戦力として働ける環境を
整えられるため「石材施
工」が職種認定を受けら
れるよう、働きかける活
動をしてきました。
国土交通省が推進する
建設キャリアアップシス

テムにおいては、登録基
幹技能者の講習実施機関
を目指して検討準備を進
めています。当会が主体
となり、現場労働者の待
遇改善、業界と雇用元企
業の信用向上に寄与でき
るものと考え、前向きに
進めたいと思います。
近年のデジタル技術に
よるビジュアル再現性は
目を見張るものがあり、
本物かプリントか、専門
家でも一見では判別が難
しくなっています。しか
し、本物には独特の質感
・触感があり、年月を経
ること風格を増すのが
天然素材ならではの魅力
です。
最近では栃木県の大谷
石、兵庫県の高山石、岡
山県の北木石や万成石な

起こり、またしても新型
コロナウイルスに大きく
翻弄されました。
加えて、ロシアのウク
ライナ侵攻による世界的
な政情不安による急激な
円安と原油高を受けて、
日本経済と我々の生活に
とって厳しく不安の多い
一年でした。

加えて、急激な円安と
原油高によるコスト上昇
を価格転嫁するのに時間
がかかり、昨年は非常に
厳しい経営環境でした。
今年も、首都圏や大阪
中心部の大型再開発案件
が本格的に動き出し、景
気回復の起爆剤となるこ
とが期待されます。

読者皆様企業のごこの一
年の社運のご隆盛と、各
位のご健勝ご多幸を心よ
りお祈りいたします。全
国建築石材工業会を今年
も宜しくお願いいたしま
す。
(筆者＝関ヶ原石材(株)代
表取締役会長／岐阜県不
破郡関ヶ原町2682)

読者皆様企業のごこの一
年の社運のご隆盛と、各
位のご健勝ご多幸を心よ
りお祈りいたします。全
国建築石材工業会を今年
も宜しくお願いいたしま
す。
(筆者＝関ヶ原石材(株)代
表取締役会長／岐阜県不
破郡関ヶ原町2682)

読者皆様企業のごこの一
年の社運のご隆盛と、各
位のご健勝ご多幸を心よ
りお祈りいたします。全
国建築石材工業会を今年
も宜しくお願いいたしま
す。
(筆者＝関ヶ原石材(株)代
表取締役会長／岐阜県不
破郡関ヶ原町2682)

読者皆様企業のごこの一
年の社運のご隆盛と、各
位のご健勝ご多幸を心よ
りお祈りいたします。全
国建築石材工業会を今年
も宜しくお願いいたしま
す。
(筆者＝関ヶ原石材(株)代
表取締役会長／岐阜県不
破郡関ヶ原町2682)